

事務事業名	JAこま野活動支援事業		所属部局	農林商工部	単位番号	6043				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	農業振興課	課長名	築野 剛司				
			所属担当	農業振興担当	担当者名	西野文人				
基本政策	基本計画体系	II にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 06	項 01	目 03	細目 020	細々目 07
政策	07	農林水産業の振興	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	12	生産を支える基盤の整備充実								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠	南アルプス市農業振興事業補助金交付要綱						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・巨摩野農業協同組合の活動に対して補助金を出す事務事業。 ・巨摩野農業協同組合の補助内容 ①営農指導員設置事業(営農指導員が果樹や野菜の作り方、農薬散布の仕方を組合に指導する) ②環境保全型害虫防除事業(安全使用基準に従って消毒をする、農家にも指導) ③野鼠駆除対策事業(遊休農地に発生する野鼠を駆除する) ④観光農園振興事業(さくらんぼ狩り)			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 協議会・協会・団体補助金 7,600 計 7,600						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 JAが行う営農指導員等設置事業、環境保全型害虫防除事業等また、6次産業化推進事業をに対する補助金の交付事務 27年度活動予定 JAが行う営農指導員等設置事業、環境保全型害虫防除事業等また、6次産業化推進事業をに対する補助金の交付事務	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 指導事業に費やした経費 千円 イ ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	JAに所属する農家 観光の登録をしているさくらんぼ農家(H23から観光協会へ移管) (補助対象:JA)	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 組合員数 人 イ ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	農業技術の指導・支援、製品の啓蒙を行い生産力の向上や販路の拡大を図る	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 耕地面積(農林業センサス) ha イ 捕獲した有害鳥獣数 頭 ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	農家の生産を安定・拡大させることで農業の振興を図る	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 委託販売品取扱高(JA事業報告) 百万円 イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	7,100	7,100	7,600	7,524	7,351	7,182	
		事業費計(A)	千円	7,100	7,100	7,600	7,524	7,351	7,182	0
人件費	内訳	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	16	16	16	16	16	16	
		人件費計(B)	千円	73	73	73	73	73	73	0
		(A)+(B)	千円	7,173	7,173	7,673	7,597	7,424	7,255	0
活動指標	ア	千円	48,000.0	48,000.0	48,000.0	48,000.0	48,000.0	48,000.0	48,000.0	
対象指標	ア	人	10,200.0	10,100.0	10,200.0	10,200.0	10,200.0	10,200.0	10,200.0	
成果指標	ア	ha	1,860.0	1,860.0	1,860.0	1,860.0	1,860.0	1,860.0	1,860.0	
	イ	頭	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	
上位成果指標	ア	百万円	5,100.0	5,100.0	5,100.0	5,100.0	5,100.0	5,100.0	5,100.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年の市町村合併以前から実施しており、経緯及び開始年など不明
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	今後は、農家の高齢化や後継者不足に対応するには農協の指導力は必要であり、今まで以上に求められてくる。行政のバックアップはさらに必要である。反面、組織改革が遅れており、大胆な経営改革が必要であると推測
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	補助金額の現状維持の要望あり。補助金頼みの運営になりがちで、さまざまな場面で追加補助を要求される傾向がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	合併協定書に基づいて事業の補助を実施しており、約束期間内の2012年まで補助額は除き補助内容は担保されていると考えられていたため。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	6次産業化の推進事業強化への要望

事務事業名	JAこま野活動支援事業	所属部	農林商工部	所属課	農業振興課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地域の特性を活かした農業生産と、生産から販売まで一貫した指導の強化と生産性の高い農業を行うことで、活力ある産地づくりが図られている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 JAこま野の活動を支援することにより市の基幹産業である農業への支援となり、生産性の向上など農業の衰退の防止につながる。 特に労働力が少ない、高齢者の小規模農業を保護する上で、JAの存在意義は大きい。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 JAこま野の活動を支援することにより市の基幹産業である農業への支援となり、生産性の向上など農業の衰退の防止につながる。 高齢者の小規模農業を保護する上で、JAの存在意義は大きい。維持継続していくことは、妥当と考える。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 個々の農家の集合体である組合ではあるが、組合員全体が儲かるような仕組みづくりを考える必要がある。H25年度より企画担当を配属し成果が上がっている。今一層向上を期待している。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 農業の6次産業化を推進していくなかで、観光分野など観光協会、商工会への補助と目的が重なる部分が発生する
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 JAこま野の事業費に占める市からの補助金の割合が20% 休止すると組合の運営にも支障をきたし、農家に影響が出るので廃止は組合員に大きな影響がある <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 高齢化とともに農業者の減少や耕作放棄地が増える中で、農協としての役割をもう一度考え事業実施を進めてもらうことにより、事業費の削減余地があると考える
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 補助金の申請書及び実績報告書などの処理業務であり、この事業に対する職員の関与時間は最小であると思われる
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 JAこま野の活動を支援することにより市の基幹産業である農業への支援となり、生産性の向上など農業の衰退の防止につながる。 農協に加入しない、農業生産法人や個人農家への支援は、別途講ずる必要がある。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	高齢化や後継者不足により農家も減少し組合員についても懸念される点ではある。しかしながら農業経営のプロとして、また、小規模農家を守る上で、より力を発揮してもらい創意工夫をしていただきたいとともに、この補助事業が生きてくるように努めていただきたい。市の政策でもある農業の6次産業化の推進、また、儲かる農業を目指す中で、本来持ちえているJAの力は多大であると考え。本市基幹産業でもある農業の振興をJAに期待しつつ、それを支援することにより事業効果、成果を向上させることが重要であると考え。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について JAの活性化、企画力等を期待する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 職員の積極性の開発や市・JA・商工会が連携し行っていくことが重要であると考え。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>②</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑤	コスト削減優先度評価結果	②																	
成果優先度評価結果	⑤																					
コスト削減優先度評価結果	②																					